

あり方検討会の積み残しの課題

1 区民・NPO等との協働の推進

児童館の協働化をどのように具体的に進めていくか。また、それとの関連で、館内学童クラブの委託をどのように進めていくか。

2 青少年の自立応援

ニートや引きこもりが社会問題化する中で、中高校生世代への働きかけとしてどのようなことが考えられるか。

3 保護者・家庭支援

親や地域の子育力の低下が叫ばれる中で、子育て支援の拠点として、児童館が今後取組んでいくべきことは何か。

4 児童館ごとの特色のある運営の推進

0～18歳までのすべての利用者に、すべての児童館で一律に今後とも対応していくことには限界がある。すべての児童館で必ず取組まなければならないことは何か。また逆に、地域ごとに特色を出していける部分は何か。

5 安全・安心な子どもの居場所づくり

学童クラブの登録児童の増加により児童館の一般利用が制約されている館があるとともに、児童館の空白地域もある中で、安全・安心な子どもの居場所づくりをどのように行っていくのか。

6 学童クラブの需要増への対応

今後とも学童クラブの需要増が見込まれる中で、どのように需要に対応していくか。

7 学童クラブの育成時間延長の要望への対応

学童クラブが子どもの自力通所が前提であることや子どもの成長や発達を促すという視点も踏まえ、時間延長を行うべきか。行うとすれば何時までが適当か。